

# めばえ通信

通巻 333 号  
令和5年8月25日  
発行/こども発達センターめばえ

## 児童発達支援センターの取り組み

「好き嫌いが多くて困っている」…そういう悩みを私達はよく耳にします。食事場面や親御さんからの聞き取り等で、その子の食べにくそうな様子がわかってくると、親御さんと一緒にそれを和らげ克服するにはどうしていったらいいのか考え始めます。まずその子の食事場面を観察しながら、理由(原因)は何なのか探ります。その理由は様々で、感覚の敏感さから口唇・口腔内に食べ物が当たることがつらいとか、食品の種類や味だけではなく、“これは食べられない”といった強い思い込みや気分だったりすることもあります。「人との関わりの中で、“食べられない”は改善されていく」…これは私達が子ども達の成長を通して実感したことです。私達は毎日楽しい遊びや活動を行うように心掛けながら、子ども達がクラスの環境・雰囲気や私達に慣れるのをじっくり待ちます。安心して過ごすことを何よりも大切に考えているからです。そこから、「人と関わる力の段階を知る目安となる“社会性”的発達」も考慮しつつ、ST 等専門職も含めた関係する職員全員で、その子の食べにくさへの働きかけ方を探し実践していきます。

以前通っていたAくんは、入園当初から食べにくい物が多く、自ら口に入れて噛んでも出してしまうことも多かったので、私達は「Aくんは困っているんだな」と思いました。そこで親御さんと相談し、食材に手をつけやすいうように素材別に提供しました。夏くらいになると、関係ができてきた私達が「少し食べてみよう」と誘うと応じてくれるようになりましたが、食べられる量は少なく、種類にも大きな変化は見られませんでした。まだ彼の支えになりきれてないと思い、まずは安心して食事が摂れるようになることを優先し、“給食では必ず食べられるものがある”と彼が感じられるようになるまで、毎日食べられる食材をお腹が満たされるくらい提供しながら待つことにしました。すると、私達の誘いを受け入れるだけでなく、提案に対し“いらない”と自分の気持ちを伝えられるようになりました。そこから好きな食材とかけひきをすると、葛藤しながらも、“少しだけなら食べてみよう”とがんばるあらわれがみられるようになったのです。

また、感覚の敏感さから、口から吐き出したり飲み込めなくて口の中にためてしまったりすることが多かったAくんは、離乳後期の咀嚼段階を丁寧に積み上げる必要性があると感じ、親御さんに提案しました。食材ごとに形態を考え、時には小さくしたり噛みやすいようにつぶしたりして提供する(前の段階に戻す)ことで、噛む経験を積み自信が持てたAくんは、徐々に口から出すことはなくなり、意欲的に噛むようになりました。その変化してきた姿を見て、「最初は形態を変えてこうなるとは思えなかっただけど、“戻る”という過程もこの子には必要だったんだ」と親御さんが話されていたのを、今でも思い出します。

実は、Aくんに対して私達が行ってきたことは、何一つ特別でも特殊でもありません。入園を検討してくださる方々から、「見学する前までは、めばえは何か特別なプログラムを組んで特殊な訓練を行っていた」と伝えられることがあります。見ていただいてわかるように、私達は地域の幼稚園、保育園、こども園等と同じように子どもの成長を支える一つの機関であり、個々の状態や発達段階に寄り添って“こうなるといい”といった願いを親御さんと描き、大人手を多く、根気よく時間をかけて取り組んでいる施設です。個性的で困難さを抱えるお子さんにとって、私達めばえが“生活の主人公になれる場所”になるよう、これからも努力していきたいと思います。

こども発達センターめばえ 所長 鈴木紀子



# こころに届く ほめほめ言葉

先月行った父親保育参加日では、『ほめる』がテーマの座談会を行いました。保護者役(ほめる側)と子ども役(ほめられる側)に分かれ実践しながら感じたことを伝えあいました。

参加した保護者からは「父親として子どもによいほめ方ができるか振り返りができた」「子どもの立場になって実際ほめられると気持ちがよくわかった」「ほめ方ひとつでも色々なやり方受け取り方があることがわかった」「具体的にほめることで、受け取る側の気持ちが変わることが実感できた」「どういうほめ方をしたら子どもが嬉しい気持ちになるか考えてほめたことが無かったので勉強になった」と様々な感想を頂きました。実際やってみることで、ほめられる側の気持ち、ほめる時のポイントを確認しあう機会となりました。

大人になるとほめられる機会はほとんどなくなります。私は、たまにほめてもらうと、気をつかってほめてくれた!?と勘ぐってしまい素直に喜べなくなってしまいます。そんな私でも、よかったですを具体的に言ってもらえると、お世辞かもしれないけれど…と思いつながらもうれしい気持ちになります。子どもも同じで、口先だけの言葉では心には届きません。大げさに褒めればいいわけではなく、子どもの気持ちに沿った、心に響く言葉掛けが大事だな、と感じます。

心に響くとは、具体的にほめること、行動を言葉にして伝えることだと思います。

夏季休暇期間中にあった職員研修の中でも、『ほめることは、ほめる+感謝すること』という話がありました。褒めた後のありがとうの言葉があることで、行動に価値がでるそうです。「ありがとう」以外にも、「やったね！」「がんばったね！」も、ほめる言葉にプラスするうれしさが増します。

## やる気を促す、ほめ声掛けに挑戦♪

### 食事

好き嫌いがあったり  
手づかみで食べても  
「座って食べられてかっこいいね」  
「苦手なものを一口食べられたね」  
\*食べる事が楽しいと思える雰囲気が大切です。



### トイレ

もし失敗してしまったとしても  
「おしこ出たね」「教えてくれたね」  
「すっきりしたね」  
成功しなくとも  
「自分からトイレに座れたね」  
\*結果に振り回されず、  
がんばっていることを認め言葉にしてみる。



### 歯磨き

なかなか自分でやろうとしない  
歯磨きが苦手でも  
「ピカピカになったか見せて？」  
「奥の歯まできれいに磨けているね」  
\*少しずつ自分でやってみようとする気持ちを大事に育んでいきたいです。



### ポイント！

- ① できなかったとしても挑戦した意欲をほめて認める
- ② ほめるタイミングも重要  
(後からではなくタイムリーに)
- ③ 親の気持ちを伝える(例:お父さん、とっても助かるよ、がんばって〇〇したんだね、お母さんもうれしいよ)

トイレトレーニング、着替え、食事…生活習慣の自立への焦り、願いはありますが、今のお子さんでのできることを見極めながら、お子さんのやる気スイッチをオンにする声掛け(褒め方)を私たち職員も意識しています。子どもは年齢によってできることも期待していいことも異なります。成長段階に合わない要求はしないことが重要です。焦らず気長に待つことも大事ですね。

まずは当たり前にできていることを言葉にしてほめてみましょう。「できているよ」「それで合っているよ」と見たままをそのまま伝えること。その自分の行動を見てくれている、認めてもらえたという安心感が、自分でやってみよう、がんばってみようと気持ちを後押しします。

私たち大人は、子どもができないことには、すぐ気づいて声を掛けるのに、できるようになったらほめることを忘れてしまいがちです。うまくいく時もあるけど、うまくいかない時もあります。「〇〇したから(できたから)ほめる」ではなく、がんばっている過程にも目を向け、毎日の成長や変化、お子さんの姿に対する言葉を掛けていくことを日ごろから心掛けたいです。そして、お子さんは、感覚過敏や不器用さがある中で、頑張っている可能性もあります。「見ているよ」「わかっているよ」ということを言葉にして、伝えていくことで、お子さんの心に届くほめほめ言葉になると思います。

### 子どもが育つ「声掛け」(抜粋)

ほめる編 ポイント！ ① 成果よりも、プロセス(努力・姿勢・やり方)をほめる



- ② もっと具体的にほめる
- ③ もっと質問する

すごい！えらいね！ さすが〇〇ちゃんだね！	おざなり・人中心	×
練習をコツコツ続けてがんばったね	プロセス中心	○
△△するとき、一つずつ丁寧にしていたね	もっと具体的に	○
どこがいちばん大変だった？	自由回答式の質問	○

参考文献:PHP のびのび子育て 「ほめ方・叱り方」ディスカバヴァー・トエンティワン出版



### ☆絵本紹介☆

『あなたのすてきなところはね』

作 玉置永吉 絵 えがらしみちこ



「あなたのすてきなところはね。」から始まる絵本です。

お子さんのすてきなところはどこですか？

忙しい毎日。そんな時、お子さんのすてきなところを声に出し

伝えてみると、まだ小さかった頃のお子さんを思い出し、ほっこり幸せな気持ちになれるかも。

ほめほめタイムのきっかけになる1冊になるといいな、と思います。

こども発達センターひがしめばえ 中山明子

# おやつと虫歯

## 給食室

一度にたくさん食べることのできない幼児にとって、おやつは栄養を補う食事のひとつですが、正しく取らないと虫歯の原因になります。

「虫歯菌」は糖をエサにして酸を作り、歯を溶かします。口の中は通常、唾液の作用で「中性」の状態に保たれますが、酸を含む食べ物を頻繁に食べると中和が間に合わなくなり「酸性」に傾き、少しづつ歯が溶けてしまいます。虫歯予防のため、食後の歯みがき、就寝前の仕上げみがきを心掛けましょう。外出などで歯みがきが難しい場合は、水やお茶を飲ませて口の中に食べ物を残さないようにしましょう。

### 虫歯になりやすい食べ物の特徴

	当てはまるおやつ	当てはまらないおやつ
①砂糖を多く含む	チョコレート・クッキー・ジュース スポーツドリンク・あめ	砂糖不使用のビスケット・クラッカー・ りんご・煮干し・チーズ
②歯に付着しやすい(ねばねば していて粘性が高いもの)	キャラメル・ガム・ チューイングキャンディー	せんべい・ナッツ類・野菜チップス
③口の中に長時間残りやすい	あめ・ガム	アイスクリーム・ヨーグルト・ゼリー

歯の健康をいつまでも保つため、決まった時間に食事やおやつをとるようにし、歯みがき剤はフッ素配合のものを使用しましょう。

また、家族みんなでかかりつけ歯科医院をもち、定期的にチェックをしてもらうと、もし虫歯ができても早期発見早期治療で簡単に治すことができます。

### 感謝の心

と・まーる様

プール2台

モリヤ様

お菓子・ジュース多数

花嶋様

お米 30 kg

皆様の善意、ありがとうございました。



### 《9・10月のおもちゃ図書館》

※新型コロナウイルスの関係で、会場によって日程変更や人数制限がある場合もあります。

詳しくは下記連絡先に御確認下さい。

菊川おもちゃ図書館あそぼ  
会館場所：プラザけやき  
児童館あそぼの部屋  
9月9日（土）/10月はお休み  
10:00~11:30 13:30~15:00  
連絡先：0537-37-1135

掛川キューピーおもちゃ図書館  
会館場所：掛川市総合福祉センター  
1階西側 Myラボ  
9月17日（日）/10月15日（日）  
10:00~12:00 13:00~15:00  
連絡先：0537-22-1309

発行者・お問い合わせ／こども発達センター めばえ

TEL) 0537-23-2312 FAX) 0537-23-0008

ホームページもご覧ください。

E-MAIL) [htc.kodomo40@globe.ocn.ne.jp](mailto:htc.kodomo40@globe.ocn.ne.jp)



# 9月の予定



9月			心理 OT	バス ○14:30発 △13:00発
1	金	総合防災訓練		朝のみ
2	土			
3	日			
4	月		心理にん	○
5	火			○
6	水		OTにん	○
7	木			△13:00
8	金			○
9	土			
10	日			
11	月	個別面談週間（～29日まで）		○
12	火		OTたま	○
13	水			○
14	木	保育参加日		×
15	金			○
16	土			
17	日			
18	月	敬老の日		
19	火			○
20	水			○
21	木			△13:00
22	金			○
23	土	秋分の日		
24	日			
25	月			○
26	火			○
27	水			○
28	木			△13:00
29	金	めばえ通信発行		○
30	土	クリーン活動		

## お知らせ

### ○1日（金）総合防災訓練

詳細は配布した別紙で御確認下さい。  
1日は、災害伝言ダイヤルを必ず聞いてから、  
引き渡し訓練に御参加下さい。

### ○11日（月）～29日（金）個別面談週間

担当職員等との個別面談がありますので時間  
を確認してお越しください。

### ○30日（土）クリーン活動

8時～クリーン活動を行います。  
4月に参加されていないご家庭の方、よろしく  
お願いします。

#### 〈おねがい〉

- ◎雑巾（薄手）…1枚
- ◎ボックスティッシュ…1箱  
各クラスに提出してください。  
どちらもめばえ全体で使いますので、名前  
は書かなくて大丈夫です。  
9/6日（水）までにお持ちください。

#### 研修・実習の受け入れ

常葉大学短期大学部（1名）9/25～10/6

#### 10月の予定

- 2～4・6日 祖父母参観週間
- 5日（木）保護者参加日（先輩保護者を囲んで座談会）
- 12日（木）保育参加日（バス遠足）

※12日のバス遠足はお弁当になります。  
詳細は別紙おたよりを配布しますので、  
ご確認ください。

